

ながおか・放課後子ども通信

令和3年1月8日発行(vol.1) 長岡市教育委員会 子ども未来部 子ども・子育て課 ☎0258(39)2393

～ 発刊に寄せて～

子ども・子育て課長 田中 剛

日頃より、児童・生徒の放課後の居場所づくりや健全育成についてご尽力いただきまして、改めて感謝申し上げます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各現場では、通常どおりの運営ができず、感染予防に取り組みながら、知恵を出し合い・工夫して事業を実施していただいているところです。

市としましても、まだまだ終息が見通せないなかにおいて、「With コロナ」の体制づくりを積極的に進めてまいります。また、近年の少子化や保護者の価値観の変化など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。学校や地域では、この変化に対応するため、既存の枠組に捉われない新たな動きも出てきています。

本通信は、放課後の活動事例や最新の話題を提供することをとおして、関係者の皆様と情報共有できればと考え発行することにいたしました。教育大綱の基本方針のひとつである「学校と家庭・地域が連携し、総ぐるみでふるさと長岡を愛する子どもを育てる」を、後押しできればと考えております。

市は、このコロナ禍を、事業の見直しや新たな仕組みづくりのチャンスと捉えております。地域と学校が連携した、運用しやすいルールづくりなど、社会情勢やニーズに応じた施策を実施してまいります。

今後も引き続き、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりや健全育成活動に、ご協力をお願いいたします。

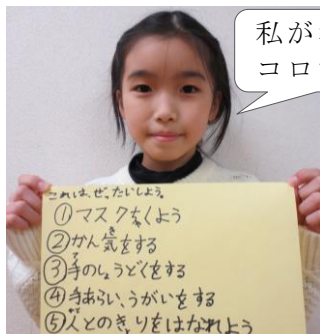
「温水設備」や「子どもたちによるルール作り」でコロナ対策を実施

放課後の子どもたちの居場所となる児童館・児童クラブで、手洗い場に温水設備の整備が進んでいます。また、各児童クラブでは、日常の中でできる感染予防対策を子どもたち自身が考えるなど、工夫した取り組みを実施しています。

青少年育成係の職員も、消毒液の配布等で随時現場を訪問していますので、何か困りごとなどがありましたら、お気軽にご相談ください。



〈温水設備で手洗い〉



〈児童がルール作り〉



〈廊下に貼り付けて共有〉

「長岡市放課後子ども総合プラン」の推進

小学生が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるように、『放課後児童クラブ』と『放課後子ども教室』を一体的又は連携して取り組んでいます。



「実践力」の向上を目指して基礎研修

時代のニーズを捉え、放課後の子どもたちに関わる職員の実践力向上のために研修の機会を設けています。今年度は、コロナ禍ではありましたが、10月28日（水）、見守り経験3年目までの職員を対象に、基礎研修会を実施しました。

今後も、現場の実情に合わせた研修会を開催していきます。



〈グループワークの様子〉

〈参加者の声〉

- ・子どもをよく理解するためには、一人一人に寄り添い、関わる大切だと感じた。
- ・児童日誌によくないことを書くことが多かったので、いいところも書きたいと思う。
- ・大人の都合を優先しがちだった。子どもの思いを受け止めていきたいと思う。

学校と「連携」し学校施設（図書室）を活用



3月の臨時休校時から、放課後児童クラブの三密を防ぎ、子どもたちの安全・安心な居場所づくりのために、図書室などの特別教室を提供いただいている学校があります。管理職の先生が子どもの様子を見に来られたり、子どもに用事がある担任の先生が声を掛けていかれたりすることもあります。

今後も、「連携・協働」する機会を大切にしていきたいと考えています。

放課後子ども教室を9月から再開

現在、長岡市では、放課後子ども教室を21小学校区（19教室）で開設しています。活動を通して、子どもたちが生き生きと学んでいます。

今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、9月から活動を再開しています。



〈指令探しに夢中になっている子どもたち〉

〈英語で遊ぼう！4～6年生コース：阪之上〉

動作を英語で言いながら、不要な紙を裂いたり丸めて投げたりして遊びました。その後も、学習アドバイザーが英語で、「長いものを捜せ」「黄色を捜せ」と指令を出すと、子どもたちはゲーム感覚で取り組みました。クリアしてシールをもらうことで、達成感を味わっていました。

※放課後子ども教室の開設に興味がある場合は、お気軽にご相談ください。

就学時健診に合わせて「就学時家庭教育講座」を実施



翌年、小学校に入学するお子さんの保護者を対象に、毎年秋に行われている就学時健診の時間を利用し、家庭教育やしつけに関する講話を行っています。

各学校に訪問する職員は、毎年テーマを決めて事前に研修会をもち、講話内容の共有化を図っています。今年度は、学校からの要望が多かったメディアとのかかわりについて、「今、保護者に知ってもらいたいネット社会の現実」と、「お子さんに利用させる場合には、保護者がアクセス制限など発達段階に応じた管理をすることが重要」といった内容を中心にお話しました。また、「お手伝い」や、「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性なども説明しています。

お子さんの就学という子育ての大きな節目に、保護者が一同に会す貴重な機会を活用し、子どもたちが夢を抱き健全に成長していくための一つの道しるべを提供するとともに、子どもたちを取り巻く今日的な課題について、各家庭に理解を深めてもらう絶好の機会ととらえています。

「親も育つ子育てセミナー」を開催

乳幼児や小中学生の保護者を対象とした家庭教育講座として、子どもの健やかな成長に向けて、子どもも親も自己肯定感（自尊感情）を高めていく子育て（＝親育ち）を柱に、キーワードに『しつけ』『育ち』『いのち』『多様性』『安心・安全』『自己肯定感』を掲げ、それらを具体化した下記のとテーマで実施しました。

テーマ	講師（敬称略）	開催日
「子どものしつけ 親のしつけ Part2 脱！イライラ子育て」	(有)マックス・ゼン パフォーマンス コンサルタンツ 代表取締役 丸山 結香	10月 7日
「子育ては十人十色！自分色の子育てをみがこう！」	臨床心理士 スクールカウンセラー 木澤 弘	10月 22日
「『あなたは大切な子なんだよ』今、子どもたちに伝えたい『いのち』のメッセージ」	開業助産師 思春期保健相談士 酒井由美子	10月 28日
「子育ては日々65点 がんばりすぎない子育てのススメ」	コミュニケーション・クリエイター ちやい文々	11月 7日
「ネット社会を生き抜く子どもたちへ 今、親ができること」	(一財)インターネット協会 インターネット利用アドバイザー 大久保真紀	11月 18日
「母親力を高め 子育てを楽しんでみませんか！」	NPO 法人市民協働ネットワーク長岡 理事 佐竹 直子	12月 2日

参加者からは、「心の荷物を軽くし、笑顔を取り戻していきたい」「子どもを尊重した言葉掛けから、親子ともども自尊心を高めていきたい」など、自らの子育てを振り返るとともに、講師の温かな声援に応えるような前向きな声や感想が聞かれました。

今回は、日程変更により 10 月からの開催となりましたが、どの講座も参加希望者が多く、コロナ禍ながらも、「何かを学びたい」「話を聴いてもらいたい」といった、子育てへの不安や心配を解消したいという親御さんの強い思いを感じました。

魚の下ごしらえにチャレンジ！（地元企業とPTA活動の連携）



調理を通じて「食の大切さ」「感謝のこころ」を醸成しようと、料理の基本である「下ごしらえ」に親子でチャレンジしました。原信ナルスオペレーションサービス(株)の約10名のスタッフからご指導いただき、「日吉小学校」と「青葉台小学校」で実施することができました。

本マグロの解体デモンストレーションがあり、その切り身を試食した後に、子どもたちは、スタッフや保護者からアジの三枚おろしのやり方の指導を受け、包丁を手に真剣なまなざしでチャレンジをしていました。そして、自分で三枚おろしにしたアジをフライパンで調理し、あつあつで湯気の立つアジを親子でおいしそうに食べていた姿が印象的で、素敵な時間を過ごすことができました。今後の家庭でのお手伝いにもつながることを期待しています。



栄養のある食事や温かな団らんを提供する子ども食堂

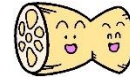
「子ども食堂」は、地域住民等が主体となり、無料または安価で子どもや地域住民に食事を提供する「居場所」であり、「コミュニティの場」です。子どもたちの学習・体験活動の場や子どもの見守りの場だけでなく、地域住民の交流の場として大きな役割を担っています。



今年度は、新型コロナウイルスの影響により、春先は活動を休止していたところもありましたが、令和2年12月現在、弁当を配布するなど、工夫を凝らして活動を再開しています。



<市内の子ども食堂一覧>



名称	会場	開設年月
新町みんな食堂	蔵王地区集会所（金峯神社社務所隣）	H29. 4
銀河食堂（※休止中）	多機能こどもセンター銀河（宮内小学校前）	H29. 11
子どもみらい食堂	長岡聖契キリスト教会（中央図書館向い）	H30. 9
しろまる食堂	四郎丸コミュニティセンター	H30. 11
塚山みんな食堂	塚山地域活性化センター（越路地域）	H31. 5
寺泊みんな食堂	寺泊コミュニティセンター	R 1. 7
与板みんな食堂	与板 本願寺新潟別院（たちばな公園近く）	R 1. 11
まちなかコミュニティ食堂	表町コミュニティセンター	R 1. 12
豊愛おひさまバル～みんなの広場～	総合子育て支援施設豊愛子どもの森（栃尾地域）	R 2. 8
ごふく食堂	クローバーハウス（呉服町 1-3-5）	R 2. 10
黒条みんなの食堂	下々条町公民館	R 2. 11

半世紀続く街頭育成活動（青少年への積極的な声かけを実施）

戦後復興から高度成長期に向かって青少年の非行化が全国で問題化しました。そのような中で、全国的に街頭育成活動がスタートし、現在も教育委員会から任用された皆さんが、青少年の健全な育成を願って長岡駅周辺や千秋が原の商業施設、栃尾地域を巡回して青少年の見守りを行っています。

今年度は、コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言の発令に伴い、活動開始が遅れましたが、長岡地域では月10回、栃尾地域は月2回程度、活動しています。

コロナ渦の活動は、商業施設内への立ち入りにも、青少年への声かけにも気を遣うことが多く、育成員も苦勞しています。例年であれば、「私たちは皆さんを応援してますよ」「困ったことがあったら相談して」等、会話をとおして温かな気持ちになってほしいとメッセージを贈ってきました。年間1500回を超えた声かけも、今は“見守り・観察”を第一にしています。



「新しい生活様式」は、放課後の街中にも求められ、青少年の姿は減り、声かけの機会も少なくなりました。しかし、青少年の健全育成には今後も地道な活動が欠かせません。地域の皆様方からも積極的な青少年への声かけをお願いします。